

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2018年1・2月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第591号

折々に言葉というもののむずかしさを覚える。あるとき、書棚にベルナノスの『田舎司祭の日記』(渡辺一民訳、春秋社、一九七七年)を見つけた。

ベルナノスは、モーリヤックなどと同様カトリック作家のひとり。悪を問題とし、独自の鋭敏な懐疑により信仰の問題にふかく切り込んだ作品を著した。『田舎司祭の日記』は一九三五年に発表されたもので、フランスの片田舎の教会に赴任した若い司祭の経験と想いを、日記という形態のもと描いている。日記なのでストーリーの面白さはない。しかし冒頭「わたしの教区は倦怠に蝕まれている。ほかのおおくの教区とおなじように。眼の前で倦怠に蝕まれていくのだがどうすることもできない」ではじまり、日々の牧会における労苦、土地の貴族やその家族、信徒との関係、悪意、嘲笑、聖職者特有の純朴さ、苦悩が何層にも重なるように描かれている。その根底には言葉にならないカオスが横たわるが、最期この司祭は「すべては恩恵である」と言い残す。

この本のなかにカトリックらしく告解について記したと

ころがある。告解とは聖堂の隅にある小部屋に入って、板で仕切られて対座する司祭に罪の告白をすること。秘跡のひとつであり、自分の心の秘密を神に告白し、司祭を通して罪の赦しを得るといふ。しかしベルナノスは記す。

「告解の秘跡によって心の秘密に一気にはいりこめると考えるのは何も知らぬから

話し合いの恵み



関西セミナーハウス活動センター運営委員

土井 健司

だ。・・・どのような恐るべき変形によって内的生活がそれ自身について、あの一類型にはまったとらえどころのない姿しか見せなくなるのか。・・・彼らの狡猾な率直さは、何も見分けられぬ散光しか透さない、あのくもりガラスに似るのである。そうしたら告白も何になろう。・・・良心がそのしたで崩れていく

とはあえて言わぬ。むしろ石化するのだ。」(77頁以下)

罪の告白が神にむかっただ真に率直なものではなくなり、紋切り型の装われた言葉、つまり苦悩の発露としての罪の告白でなく、むしろ告解室の言葉、良心は石化化したものになるという。

ドキッとする文章だった。

さてアカデミーのミッションは話し合いにあるという。これまで私も幾らかのプログラムを担当し、その都度話し合いの機会をもった。とりわけアカデミーの場合は、たんなる講演会の企画ではなく、その後二時間ほどつづき、自分の意見を述べ、相手の意見を聞き、考え、対話する等の「はなしあい」が特長である。その意図は、討論における勝ち負けとは異なり、新

しい真実の発見、新しい知識の獲得、自分の意見の整理、結実などを経験して、未来につながることにある。参加者一人ひとりがそのような経験をしてみたらえれば、必ず明日につながる。しかしそのためには、まず自分の意見、本当に考えていることを率直に語り、相手の言葉に耳を傾けて、対話をせねばならない。隠したり、表面的に語ったり、聞いたりするだけなら意味はない。ベルナノスの一節は、告解のような極めて私的に神に対する場においても、率直に語ることにむずかしさ、ルーティン化し、石化した言葉を並べているだけになると指摘する。同様に、ますます話し合いというもののむずかしさを感じている。

そもそもキリスト教の特長は協議にあつて、公会議などこれほど多く会議を催した宗教は他に例がない。またロゴス・キリスト論は根本的な考え方、教理の伝統を形成する。本当の話し合いがなされることで、よりよき社会も形成される。時代にふさわしく工夫を凝らしつつ、一つひとつのプログラムの話し合いの充実を目指したい。

(関西学院大学神学部教授)

関東活動センター

●2017年度 関東フォーラム 宗教対話 I

「日本キリスト教史を読む・明治篇」 I

オプショナル・ツアー

「明治期に創立された教会を訪ねる」

富士見町教会・本郷中央教会・弓町本郷教会

2017年11月16日(木)



「日本キリスト教史を読む」は昨年6月から月に一度7回シリーズで行われた学習会である。参加者は当初の予想を上回り、多い回で40名近くと盛況だった。新島襄、海老名弾正、植村正久、内村鑑三、

をお訪ねした。参加者は20名。各教会の牧師、役員の方の温かいお迎え、詳細な説明とおもてなしを頂いた。現在は、どの教会堂も建てかえられ、付近の様子も明治期のそれとは一変してはいても、目をつぶれば100年以上、連続と続く教会の長い歴史の最初に、信仰に燃えた人々がそこに集い、彼らを鼓舞し慰めた牧者がいたことを想像することができた。又ふだんは学習会で顔を合わせるだけの方々どゆつくり語り合い知り合えたことも収穫だった。

新渡戸稲造、柏木義田各氏を取り上げた。この講座の魅力は何より講師の戒能信生氏の高いご見識に裏打ちされた解説だ。生い立ちから入信の経緯、宣教の在り方の違い、時代背景など興味深い内容で毎回あつという間に2時間過ぎてしまうのである。それから、それに加えて彼らにゆかりの場所をお訪ねしてみるのも興味深いのではないかと軽い気持ちで提案させて頂いたらあっさりとお実現してしまつた。

講師をナビゲーターに2017年11月16日(木)少々冷え込んだ日、植村正久創設の日本キリスト教団富士見町教会、C.S.イービー宣教師創設の同本郷中央教会、海老名弾正創設の同弓町本郷教会

学習会「第二弾」も予定されている。山室軍平、中田重治、高倉徳太郎、賀川豊彦、金井為一郎、植村環、矢内原忠雄の7名が取り上げられる。オプショナル・ツアーは10月25日。時代が少し新しくなればゆかりの物が増えるということ、そこに期待して今からもう待ち遠しいのである。(報告 平井祐美子)



謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

評議員 神崎 清一 理事 戒能 信生

木原 活信 小原 克博 土井 健司

西原 廉太 増田 琴 中井 博雅

柳井 一朗 横野 朝彦 中村 信博

横野 朝彦 監事 黒岩 裕二

棟方 信彦 (五十音順)

横野 朝彦

戒能 信生

小久保 正

榎本 栄次

神保 正男

久保田展史

奥田 豊

職員一同

所長

経営委員長

館長

事務局長

本部事務局

Religious organization contact information and New Year greetings, enclosed in a dashed border.

関西セミナーハウス活動センター

●2017年度「開発教育セミナー」第5回
「沖繩のまなざし、沖繩へのまなざし」
～メディアの報道と私たち～

ジャーナリスト 安田 浩一さん
2017年11月18日(土)～19日(日)



昨年もお招きした安田浩一さんから、情報が溢れる今、私たちは何を手掛かりにどう沖繩を理解するかについて学んだ。

まず、10月12日に沖繩高江で起こった米軍ヘリ炎上事故の報道について、沖繩の新聞も含め8社の記事を比較した。普段なかなか沖繩の新聞を目にすることがないため、私たちに伝わってくる情報との違いをよく知ることができた。沖繩の基地依存度は約5%であるにもかかわらず、

本土の多くの人は「沖繩は基地に依存している」と考えており、それは新聞記者も例外ではないという。基地問題をはじめ沖繩で起こっている

様々な問題は、「沖繩の」問題ではなく、沖繩を理解しようとしないうちの社会の問題なのだということを再確認した。

2日目は、辺野古の基地建設現場についてのレポートから始まった。座り込みを続ける人々とそこへ向けられるヘイト。ヘイトスピーチは、非対称的な関係の中で多数派から少数派に向けられるが、それを「どっちもどっち」と同列に語ることは、「いじめ」と同様、差別の構造が見えていない。

こういった状況にどう立ち向かうのか。「わたしたちは日本国憲法と民主主義があ

る」——わたしたちはこの宝を生かしていきたいし、胸を張って希望を持っていくことをもつと教育の中で伝えていかなければならないという安田さんの言葉に勇気づけられた。

●2017年度関西セミナーハウス
もみじまつり

2017年11月23日(木・祝)
共催 関西セミナーハウス



もみじの色づきももちょうどよく、穏やかな一日となった。大島偕美氏による「水墨絵の世界」の展示は、ギヤラリートークのお話も含めて内容の濃いものであった。和太鼓宴による演奏は、女性のグループということで華やかさも有り、真摯な演奏は参加者に大いに感銘を与えた。恒

例の箏の演奏は、音色が庭園に響いて今年も好評を博した。三席かけていただいたお茶席は、待合など少し寒さも有り、ひと時の小雨もあったが、間もなく上がり、鮮やか

に色づいたもみじを眺めながらの衣服を楽しんでいただけと思う。会の終わりには、紅葉の山の上に大きく虹がかかった。



もみじまつり寄付金

2017年11月1日～30日

(順不同・敬称略)

宮本 桂子	3,000
多木 秀雄	1,500
(株)三原工務店	20,000
匿名	1,500
喜多村 やよい	6,500
牛尾 曜子	500
松本 圭子	5,000
株式会社藤木工務店京都支店	10,000
鳥井 清司	2,000
魚木 アサ	3,000
佐野 千枝子	3,000
長谷川 義紘	10,000
中村泰洋園 中村英明	10,000
北野 宗香	5,000
荒本 千代子	3,000
社会福祉法人修光学園	5,000
小林 哲夫	5,000
佐々木 紘児	5,250
手銭 秀夫	10,000
小久保 正	7,000

ありがとうございました。

賛助会費・寄付金報告

2017年11月1日～12月31日

(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費

松浦 茂長	5,000
島田 治夫	2,500
ランデス ハル	5,000
吉田 豊	3,000
古賀 博	5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

横浜雙葉学園	10,000
千葉 拓司	10,000
日本基督教団千代田教会	10,000
ランデス ハル	15,000
中井 博雅	5,000
高橋 喜久江	5,000
坂口 みどり	3,000
石橋 光朗	3,000
河原田 美哉子	5,000
松本 誠	5,000
川北 かおり	10,000
萩原 好子	5,000
神保 正男	10,000
毛利 亮子	5,000
石川 憲彦	5,000
佐藤 萬亀	3,000
松岡 俊彦	3,000
園山 鈴江	5,000
恵泉女学園中高・宗教部	20,000
吉見 崇一	2,000
水溜 千枝子	5,000
飯田 庸子	2,000
服部 千賀子	5,000
島田 治夫	2,000
小林 誠治	10,000

神学生交流プログラム寄付金

北原 和夫	5,000
聖公会神学院	50,000
竹中 百合子	10,000
千葉 拓司	10,000
横浜雙葉学園	10,000
日本ナザレン神学校	30,000
島田 治夫	2,000
萩原 好子	10,000
藤倉 寿美子	10,000
松原 千里	2,000
学校法人西南学院	50,000
立石 昭三	2,000
松井 直樹	5,000

◆関西セミナーハウス

寄付金

牛尾 宣夫	10,000
京都西院会	15,000
佐藤 優	10,000
北垣 宗治	5,000
野嶋 和雄	10,000
武藤 高司	10,000
京都音楽教育の会	30,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

山田 幸子	20,000
岡野 彩子	5,000
徳丸 延子	10,000
白方 誠彌	10,000
西岡 裕芳	5,000
木原 諄二	5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

和田野 勢津子	10,000
小山 稔・初美	3,000
坂口 みどり	3,000
網野 俊賢	10,000
松本 圭子	5,000
木下 壽子	3,000
多木 秀雄	3,000
中村 信博	5,000
藤田 俊文・恭子	10,000
岩橋 龍男	7,000
川北 かおり	10,000
杉本 益男	100,000
匿名	100,000
山添 みどり	5,000
北垣 宗治	5,000
佐藤 全弘	3,000
榎本 栄次	6,000
根岸 宏邦	5,000
水戸 潔	5,000
匿名	1,000
京都キリスト教協議会(KCC)	20,000
間瀬 啓允	3,000
山田 幸子	30,000
塚本 誠一	5,000
樋口 よう子	10,000
鳥井 清司	11,300
高橋 壮二	2,000

プログラム案内

◆関東活動センター

■第9回神学生交流プログラム

主題：「エキュメニカル運動の軌跡と神学的課題」

講師：神田健次さん(前関西学院大学神学部教授)

校長：関田寛雄さん(日本基督教団神奈川教区巡回牧師)

日時：2018年3月5日(月)～7日(水)

会場：イエズス会鎌倉黙想の家

対象：学校推薦を受けた神学生

◆関西セミナーハウス

■月釜 清心会

日時：2018年3月11日(日)

9:00～15:00受付(1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000円、臨時会費1,000円

◆関西セミナーハウス活動センター

■2017年度修学院フォーラム「いのち」

第2回「いのちとさんび～ピアノとお話のひととき」

演奏とお話：菅野万利子さん(ピアニスト)

日時：2018年3月4日(日)

14:00～16:00

会場：関西セミナーハウス

入場料：前売2,000円、当日2,500円、学生1,000円(コーヒー込)

日本基督教団希望ヶ丘教会	10,000
竹中 百合子	3,000
日本キリスト教会吉田教会	5,000
五十嵐 萬里子	3,000
信岡 茂浩	10,000
山本 良昭	5,000
西川 武	10,000
島田 恒	20,000
松本 嘉一	5,000
菅 恒敏	3,000
内藤 弘子	5,000
千里山キリスト教会	10,000
遠藤 勇	3,000
榎こころ ぬいぐるみ病院	10,000
岡野 彩子	5,000
徳永 恂子	5,000
ホッジクリスティーナ 紀子	3,000
神戸ドイツ語教会	21,276
国際シャローム・キリスト教会	3,000
蔭山 淳	10,000
河崎 玲子	5,000
杉本 尚司	2,000
武田 正一	3,000
今井 奈都子	2,000
匿名	300,000
木原 諄二	5,000
日野 多栄子	3,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
 関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
 関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
 関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本キリスト教アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
 TEL 075-711-2147
 FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館1F
 TEL 03-3207-6198
 E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
 E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
 E-mail:office@academy-kansai.org